

## 平成22年度 実績評価書（平成21年度の実績の評価）要旨

「日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること」について

平成22年8月

医政局指導課(新村和哉課長)[主担当]

## 1. 政策体系上の位置付け

## 【政策体系】

基本目標Ⅰ 安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること

施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること

施策中目標1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること

## 2. 施策の概要

本施策は、次の施策小目標を柱に実施しています。また、本施策の実現のために投入している資源は次のとおりです。

## （施策小目標）

- （施策小目標1）医療計画に基づく医療連携体制を構築すること
- （施策小目標2）救急医療体制を整備すること
- （施策小目標3）周産期医療体制を確保すること
- （施策小目標4）小児医療体制を整備すること
- （施策小目標5）災害医療体制を整備すること
- （施策小目標6）へき地保健医療対策を推進すること
- （施策小目標7）病院への立入検査の徹底
- （施策小目標8）医療法人等の経営の安定化を図ること
- （施策小目標9）病院における温暖化対策の推進

## （予算）

	H18	H19	H20	H21※評価対象年度	H22
予算額 (決算額)(百万円)	26,059 (19,633)	26,964 (18,053)	28,072 (20,716)	40,447 (29,243)	35,300

### 3. 評価と今後の方向性

指標・目標値の動き等をもとに、本施策を評価し、今後の方向性をまとめました。

(指標・目標値)

指標と目標値（達成水準／達成時期）						
アウトカム指標		H17	H18	H19	H20	H21
1	在宅で死亡する者の数 （前年以上/毎年）	132,702	131,854	136,437	144,771	集計中
達成率		104.1%	99.3%	103.5%	106.1%	
2	心肺停止の一ヶ月後の生存率（上段）・社会復帰率（下段） （前年以上/毎年）	7.2% 3.3%	8.4% 4.1%	10.2% 6.1%	10.4% 6.2%	集計中
達成率		— —	116.7% 124.2%	102.0% 148.8%	102.0% 101.6%	
3	周産期死亡率（出産1,000対） （前年以下/毎年）	4.8	4.7	4.5	4.3	集計中
達成率		104%	102.1%	104.3%	104.5%	
4	幼児（1～4歳）死亡率（人口10万対） （前年以下/毎年）	25.4	24.6	22.8	22.3	集計中
達成率		—	103.1%	107.3%	102.2%	
【調査名・資料出所、備考等】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1については、「人口動態調査」（厚生労働省大臣官房統計情報部）によります。平成21年度の数値を現在集計中であり、平成22年9月に公表予定です。</li> <li>・指標2については、「心肺機能停止傷病者の救命率等の状況」（総務省消防庁）によります。平成21年度の数値を現在集計中であり、平成22年度中に公表予定です。</li> <li>・指標3については、「人口動態調査」によります。平成21年の数値は現在集計中であり、平成22年9月公表予定です。</li> <li>・指標4については、「人口動態調査」によります。平成21年度の数値を現在集計中であり、平成22年9月に公表予定です。</li> </ul>						
アウトプット指標		H17	H18	H19	H20	H21
5	病院の耐震化率 （78.1%/26年度）	36.4%	—	—	50.8%	56.2%
達成率		—	—	—	—	72.0%
6	無医地区等における医療活動（巡回診療、代診医派遣等）回数 （前年度以上/毎年度）	22,330	21,511	20,136	34,652	集計中

達成率		-	96.3%	93.6%	172.1%	
7	病院への立入検査における指摘に対する遵守率（総検査項目数に対する適合項目数の割合）（前年度以上/毎年度）	97.0	97.2	96.4	97.3	集計中
達成率		100.3%	100.2%	99.2%	100.9%	
<b>【調査名・資料出所、備考等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指標5については、「病院の耐震改修状況調査」（厚生労働省）によります。</li> <li>・指標6については、「へき地医療に関する現況調」（厚生労働省）によります。</li> <li>・指標7については、医政局指導課調べによります。平成21年度の数値については、平成22年12月に公表予定です。</li> </ul>						

（指標の分析：有効性の評価）

○すべての指標について、改善傾向又は前年度と同水準 → 本施策は一定程度有効と考えられる

※ 医師不足等の課題がある一方で、全都道府県において、

- ・医療計画に基づく医療連携体制の構築が進み、かつ、
- ・救命救急センター、総合周産期母子医療センターの機能強化が図られている。

指標上は、各種施策の効果が一定程度反映されているものと考えられる。

○一方、

- ・指標5は、平成26年度までの達成水準への到達を目指し、施策を推進する必要がある。
  - ・指標1～4、6・7は、平成22年度においても、施策目標を達成する必要がある。
- 引き続き、施策の有効性・効率性を高めるための工夫の必要がある。

（効率性の評価）

医療計画制度に基づき、都道府県が四疾病五事業に係る医療連携体制の構築を進めることにより、地域の実情に応じて医療機能の役割分担・連携を推進することとしているが、国が各種国庫補助等により当該地域の実情に応じた都道府県の取組を支援することから、効率的に医療連携体制の構築が進み、施策目標の達成が図られるものと考えられる。

（今後の方向性）

○地域の医療連携体制の構築について

→有効性・効率性を高めるため、引き続き医療機関の役割分担を進めていく。

○救急医療・周産期医療・小児医療・災害医療・へき地保健医療体制について

→ 有効性・効率性を高めるため、地域医療計画の取組を強化し、支援を行う。

○病院への立入検査について

- ・ 病院の立入検査における指摘に対する遵守率は、97%台と高率（指標7）  
→ 立入検査における指摘の有効性を高めるため、立入検査職員の資質向上を図る。

○医療法人等の経営の安定化について

- ・ 医療法人等の経営状態は、赤字の割合が49.2%と依然厳しいが、地域に効率的かつ安定的に医療を供給するため不可欠な存在  
→ 医療法人等の経営課題に対応した有効性の高い施策を推進する。

○病院における温暖化対策の推進について

- ・ 病院の延床面積あたりCO<sub>2</sub>排出量対前年度比率は目標を大幅に上回り達成  
→ フォローアップ等調査において税制や補助金等による支援ニーズがあったこと等から引き続き支援を行う。

#### 4. 評価結果の政策への反映の方向性

---

##### (1) 予算について

---

以下の□で囲んだ方向で検討します。

- ・ 廃止
- ・ 見直しの上（増額／現状維持／減額）
- ・ 見直しをせず、現状維持

##### (2) 税制改正要望について

---

医業継続に係る相続税・贈与税の納税猶予等の特例措置の創設を検討します。

##### (3) 機構・定員について

---

以下の方向で検討します。

- ・ 増員（地域医療における医師確保及び医療連携の推進のための体制整備の強化のための増員1人）  
関係）

##### (4) 指標の見直しについて

---

今後、有識者の意見等を踏まえ、指標の見直しを検討します。